

常任委員会 審査 レポート

各委員会に付託された議案等について、
議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

総務文教常任委員会 岡田竜一 委員長

資金の借りに入札方式を導入

議第6号三条市立保育所条例の一部改正については、現嵐南保育所の跡地利用について、現時点ではその用途利用は予定していない。園舎については、老朽化しているため解体する方向で検討しているとのことでした。

議第10号旭・裏館統合保育所建設建築本体工事請負契約の締結については、1階と2階の構造を分けた理由について、木のぬくもりが子どもたちに良い影響を与えることから木造も検討したが、音の関係があり、1階は遮音効果の高い鉄筋コンクリート造りにさせていただいたとのことでした。

議第12号平成28年度三条市一般会計補正予算では、資金の借りに入札方式を取り入れ、金利の一番安いところから借り入れているとのことでした。

ふるさと三条応援寄付金の返礼品の選定について、事務受託業者から提案等は積極的にいただいているが、最終的な決定は三条市が行っているとのことでした。

また、グラウンドの芝生化について、小学校については今回の4校が終わると残り4校となる。この4校については平成30年度以降、交付金等の状況を見ながら順次整備に努めたい。中学校については芝生化せず、排水状況が悪く教育活動等の支障となっている学校について全面改修を進めており、本成寺中学校の改修が終わると大規模な改修は全て終了するとのことでした。



市民福祉常任委員会 笹川信子 委員長

福島県からの自主避難者の県営住宅入居を県と共に支援

議第12号平成28年度三条市一般会計補正予算では、清掃センターストックヤード外構工事の一部が国の交付金の対象外事業と指摘されたことに伴う償還金について、交付金の対象となる循環型社会形成推進地域計画に基づく事業の範囲に対する解釈に会計検査院と相違があったことによるもので、今回の指摘事項も含めて、今後当該計画の見直しを検討したいとのことでした。

また、東日本大震災による福島県からの自主避難者が、応急仮設住宅の供与期間終了後、県営住宅に入居するこ

とに伴う経済的負担について、所得に応じた家賃を負担することにはなるが、世帯の中に福島県で生活する家族がいる場合は世帯全体の所得を2分の1として取り扱う他、県がエアコン、風呂釜等を設置するといった支援もあるとのことでした。



経済建設常任委員会 坂井良永 委員長

地元建設業者の育成を目的に 包括的維持管理委託を実施

議第12号平成28年度三条市一般会計補正予算では、庭園の郷保内に誘導看板を設置することについて、これはあくまで施設に入りやすくするためのサインであり、誘客のためには当然ソフト事業が大切だと考えている。今年度は講師を呼び、店のレイアウトやポップの作り方の他、地域や施設の魅力について改めて検証するとのことでした。

また、社会資本に係る包括的維持管理委託について、社会インフラが老朽化する一方で建設業者等が衰退している現状の下、地元の業者を育成するところに本来の目的があり、

今回の業務区域内において事業展開している業者が受託することを期待しているとのことでした。

参加資格要件を3者から10者の共同企業体としたのは、平成29年4月から委託するに当たり、事業協同組合を設立することは時間的に難しいからであり、この要件を今後どうするのかということについては、また検討していきたいとのことでした。



大崎中学校移転後の有効活用について

問 地元からの要望内容は？

答 そして、内水対策を入れた計画を考えるべきだと思うがいかがか？

子育て支援施設等の建設、公民館機能を有した（仮称）コミセンの建設、体育館の建設、グラウンドの整備、避難所および資機材の保管場所などにより大崎地区の活動拠点となるようにという要望が出ている。大崎地区の雨水対策については、三条市公共下水道事業により進めるものとしてあり、現在見直しをして

答 協議会の構成員でもあり、県、他市町との担当職員と行っている。

問 森林計画作成のため、必要とする市の役割はどうか。

答 三条市森林整備計画との合致の確認と林業施業の機運に努める。

三条市の温泉宿泊施設について

問 棚敷地内決定について伺いたい。誘致予定者がビジネスとして期待感を持てる場所であった。

問 地元業者との話し合いはどうか。事前に意見交換を行った。



大崎中学校

いる。大崎中学校跡地活用を他の案と比較検討していく。

行政経営品質について

問 これまでの行政主導の発想をやめ、住民本位の行政を実現するための「行政経営品質」を導入する考えはあるのか。

答 若干アプローチの仕方は違うが、最終的な目的はほぼ同意と捉えている。三条市も個別計画を更新しながら取り組むことで、住民本位の行政運営ができるだろうと捉えている。

手づくりしかけ絵本コンクールについて

問 手づくりしかけ絵本コンクールの応募締め切りが11月18日だったが、応募状況と今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 全国各地から104点の応募があり、12月6日に入賞者を決定した。

三条小学校跡地の活用について



三条小学校

問 あと3カ月半後に閉校を迎える三条小学校跡地の活用について市長の考えはどうか。

答 隣接するステージえんがわ、鍛冶道場、新たな施設の要望のある図書館、鍛冶ミュージアム、これに加えて理科教育センター

機能を兼ね備えた新たな複合施設の設置を現在検討中である。

新年度予算編成と諸課題について

問 トップランナーとして築かれた10年間の実績を踏まえられ、新年度予算は市長3期目後半の集大成に向けての編成だと思いが所見を承りたい。

また、私の課題の一つとして地元要望の大崎中学校跡地の有効活用について伺いたい。

答 総合計画を策定して取り組みを進めている。基本的には、このペクトルを進めていくことに変わりはない。財政面から普通交付税の合併算定替えに伴う減額が頭の痛いところであり、歳出においては公債費等の義務的経費、老朽化する公共施設等の維持修繕費の増加の問題もある。この難しいパズルをどう解いていくのか、何とか予算をまとめ上げ自信のある予算を皆様方にご提示をしていきたい。大崎中学校跡地の活用は、11月8日に要望を頂いたばかりであり、基本的には解体を余儀なくされるものは解体するが、できる限り現有施設を維持しながら要望頂いたものをうまくはめ込むことができないか今後つめていく。